

327
528

皇國のちから

全

皇國のちから

013985-000-2

327-528

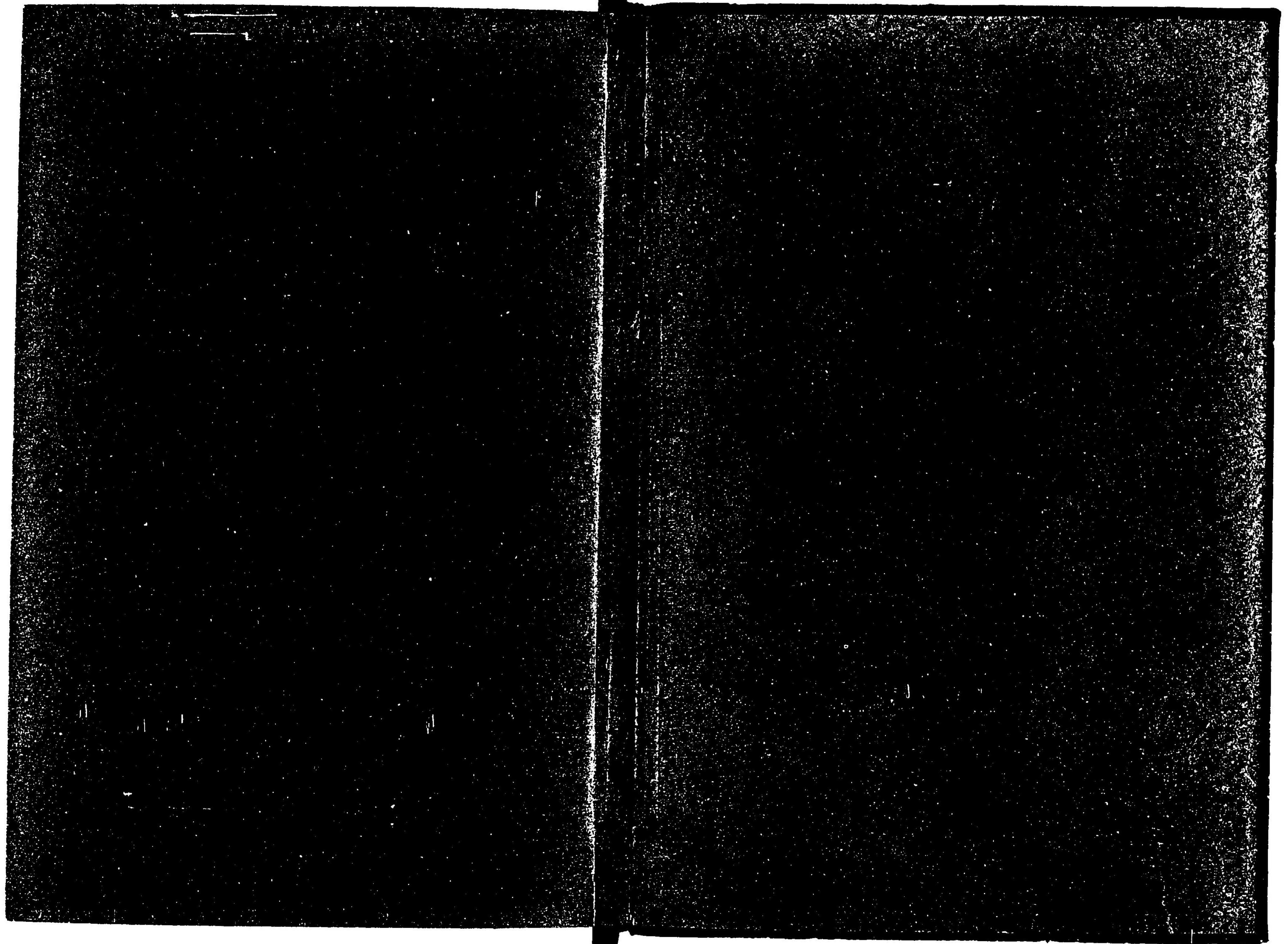
皇國のちから

田澤 里之助 / 編

M4 1

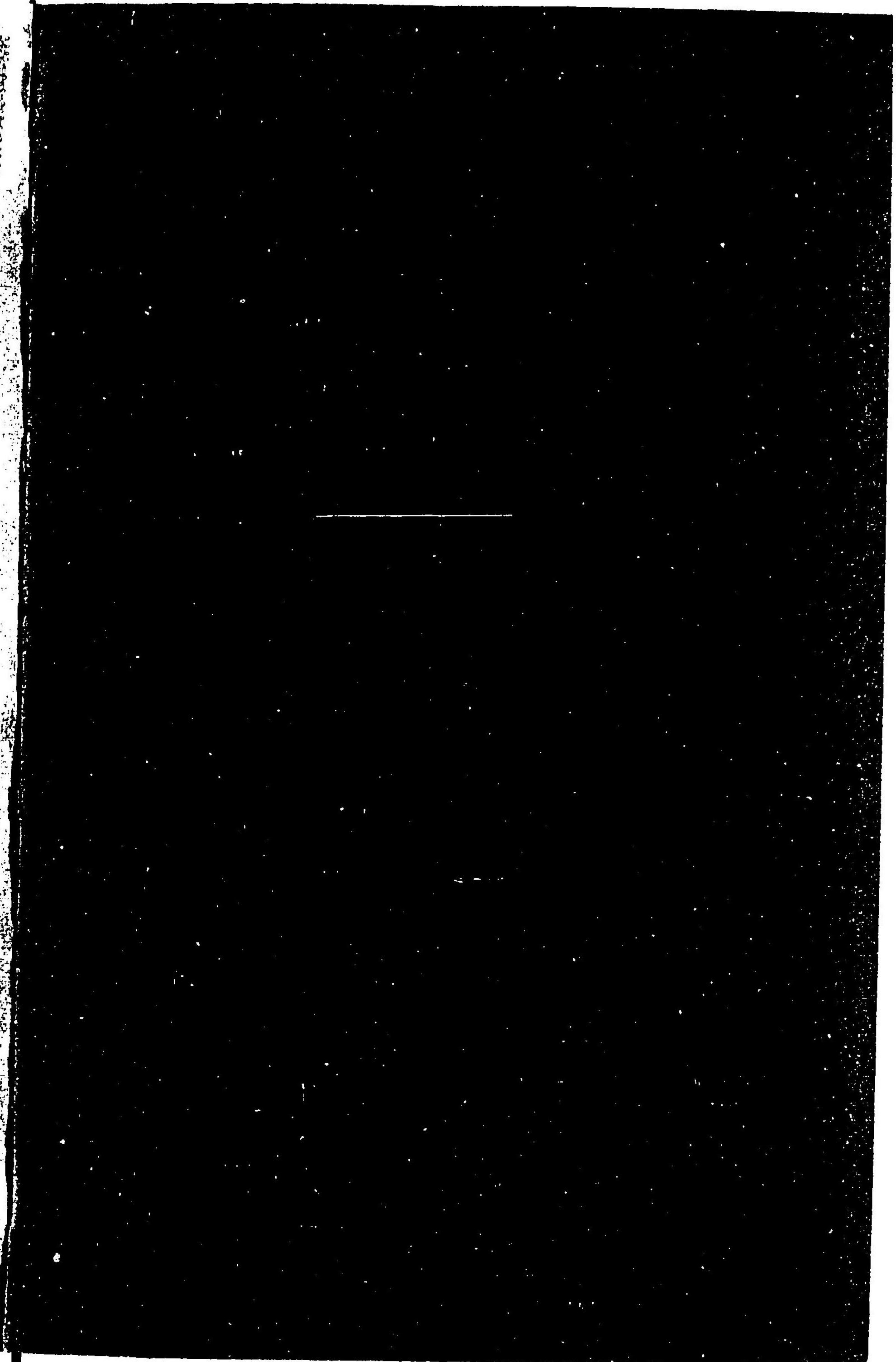
ABB-0234

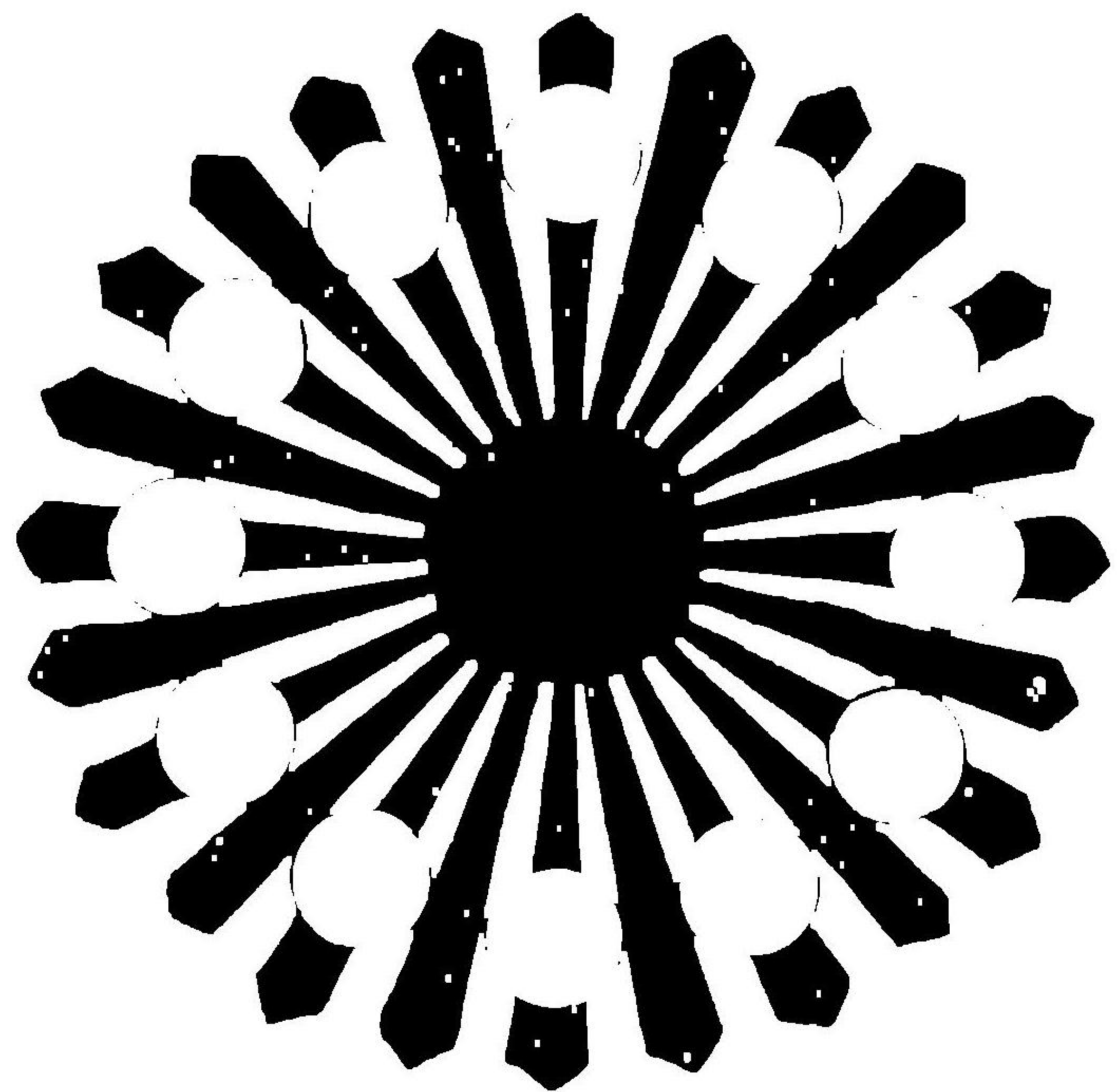




827
528

皇國のちから





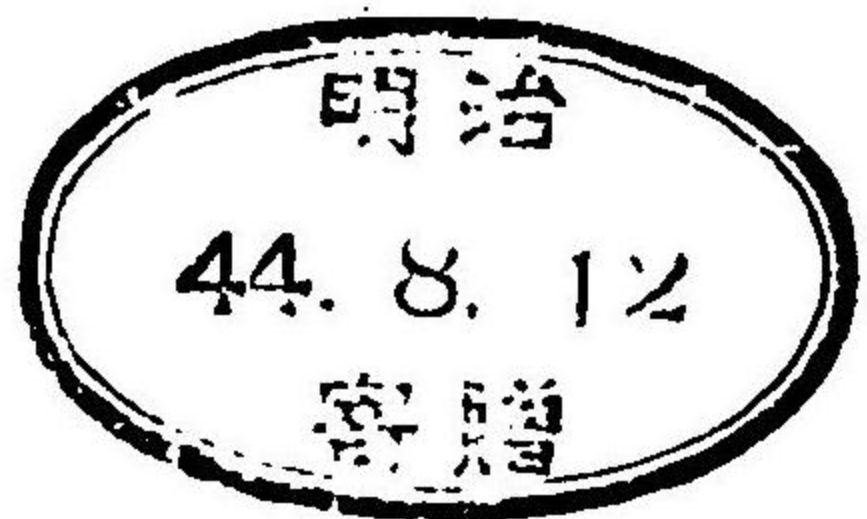
神勅

大邑會中院寄贈本

葦原千五百秋之瑞穗國是吾子孫可

王之地也宜爾皇孫就而治焉行矣寶

祚之隆與天壤無窮者矣



勅語

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト
 深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥
 ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ
 此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ
 恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及シ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓
 發シ德器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ
 國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運
 ヲ扶翼スヘシ是ノ如ハ獨朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以
 テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン
 斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ俱ニ遵守
 スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕
 爾臣民ト俱ニ拳々服膺シテ咸其德ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名御璽

皇國のちから

天學園主人速

我カ國體の將來を觀るにいつれの道も道は則ち神政農工商の道にしてみな之
 れに生え立たざるなく至りつくさざるものなからんとす此の五道

- 第一 神道
- 第二 政道
- 第三 農道
- 第四 工道
- 第五 商道

みな順序正しく發達せば國家の幸福之れより大なるはなく然れとももし本末
 を謬りて發達せば國家の悲惨之れより甚しきはかかると常に國家の隆盛を
 念ふものは此の本源に最大最蜜の注意を要すべきものなり即ち我カ國の現狀

は此の五道順序を紊し實に恐るべき害毒今や四方に流れ將に上下に漲らんとす

道の教はなにより大事

外理ひき理の慾理は毒よ

二葉心の童男女よりも

大中小理の教のため

不忠不孝も忠孝神も

元を糺せばみま此のうち

木でも竹でもまげれば曲る

人は善にも悪にも進む

末の括りの治めも知らず

ひき理ばかりに引き倒されて

惠む天理に起き立たざれば

四方ころびの頭かよりて

頭同志の大戦争よ

前後左右よ大鉢合せ

晝夜休めぬ自然の攻めに

我れを忘れて盛になせば

なせばなす程勢ひ付きて

微塵に碎けて飛ぶのも知らず

生命知らすの引き理の恐さ

耳も聴えず眼鼻も覺かす

谷へ落つるも見えねば知らじ

谷の恐さも見えねば知らず

飛び込むばかりで出づるものなし

進みゆく後ほど安心の確實なる目的をつけて道に進まざれば道々すすみゆく
程次第に國家の衰頽となり道ありて道踏むこと能はず之れ深く思はずんばあ
るべからず

今やわが國は天地開闢の神代より生え立てる大木の再び生氣眞盛なる其の大
眞に火の燃え付きたるか如し枝葉も茂れる大木なれば火の燃え方も一層烈し
く燃え立ちて如何なる大木も忽に燃え介れんとするさまなり一刻も早く此
の火を消し止めずんば全く焼土に化せんのみ此の火と眞と體との三は容易に
離ること能はざるものなり此の三の區別は世の人の覺るべき實に肝要ある
驚くべき理由の伏在せるものなり此の火は海外より渡れる四方攻めの火なり
四方攻めに分つ悪氣か我が國の氣に雜り悪火となりて我が大木の眞に燃え
つきたるを以ちて此の火は人間の力のみにては到底消し止むること能はず
第一忠孝の道義を破れる海外の外教我が國に入りて教を開き國體に惡魔を憑
け一種の精神病となして日本魂の入れ換へをかさんとする一方あり第二科學

機械を以ちて巧に人目を驚かせ金銀を海外へ流出せしめて我が國體を貧弱に
 おさんとする一方あり第三我が國體の疲勞を待ちて濫りに國債を増加せしめ
 利に利を重ねて自然金力を以ちて亡さんとする一方あり第四三方攻めにて亡
 びざるときは大軍力を以ちて最後の目的を達せんとする一方あり合せて之れ
 を四方攻めと云へるなり此の四方攻めの病は其の傳染の源遠く漸く病勢漫に
 して結局生命を奪ひ去らんとすさまなり斯くの如く我が國體にかかり來り
 て國病となり次第次第に重病となりて今は治療の期に後れ如何なる國手も施
 すべき術なく醫藥の力のみにては到底生命危く見えたり

わからねば踏めども見えぬ道をしへ

踏み分けて見る神の道かな

茲に天祖神世の事業の始りは安政年間より慶應年間に亘りてなり此の間國常
 立大神天照皇大神を始めとして國津神々の御神心配は容易にあらず大神の
 御神語世上は容易にあらず劔の風音を聞くが如くの世の中なり心付かずんば

一命も危し 天祖神を願はずんばゆき届かずあり此の時 天祖神星司三百
 三十余神を隨へ始めて此の地に天降り給ひて大神の御神語星司三百三十余神は
 天祖神の侍従なり天下は武藏留る惡風吹き晴して大元の神世に如何とあり大神
 の御神語今惡風吹き晴すと雖も直ぐ吹き晴しては神世よならず此の世の乱れは
 世上萬民驕奢の過ぎしゆゑなり一度世上を懲示て其の上惡風吹き晴して大元
 の神世よ如何とあり之れは慶應二年のことにして國常立尊天地開闢大神より
 天祖神へ御神答の御神語なり此の時 天祖神此の神答を道理に御享け給ひ
 て星司三百三十余神を隨へて高天よ還御なし給へり其れより日本大小の神祇天
 下の役儀を御投げ出しとなりて出雲大社に集り給ひて神世神世の御神議何日
 ともなく何程のことなるや勢ひ天地に發し太古の神代の如し段々御神議改り
 一百日を経て御神議決定あり此の時賀茂大神は教者に對ひ天下泰平の祈禱は
 教者の役なり神世の祈禱相頼む今日より神々補助行に及ぶこの御神語あり即
 ち神々の役儀は深川八幡宮天下の役儀を預り給ふ不知森八幡宮天地龍海順達

の役儀鶴岡八幡宮天下宰配の役儀宇佐八幡宮男山八幡宮合せて天下は五社八幡宮のおかかりとなりたり此の外日本大小の神祇國津神々残りなく天の八幡に立ち昇り給ひて四方の中央天に聲あり段々午の中央天に神々集り坐して神力經力の御勤めありしことは實に言ふも盡くせぬ靈妙の神業にて或は遠くして大風の吹くが如くの響きあり或は近くして涼風の吹くが如くの響きあり或は音勢太く鎮りて胴聲の響きあり或は音勢細く高く觀聲の響きあり神世の祈禱晝夜眞盛になりたることは神人ともにして眞にももの凄き次第ありし之れ皆高天に座す 天祖大神へ對ひ奉りて神世神世の拜禮をなし奉りたることなり此の時大神の御神語武藏國に尊き神山ありと雖も未だ開けず此の山を踏み開きて 天祖神を鎮祭し奉らずんば世界泰平の神世にならずとあり即ち神々の御導きありて武藏國多摩川の水源氷川村日原の奥山に分け登り奥山北口三合目に鎮り給ふ立岩神社(祭神、天太玉大神にして役小角の鎮祭なり)の千疊敷と云へる岩座に上りて天下泰平神世の拜禮を勤めしこと數回數度の拜禮なり

りしか尋て明治の神世となり一層行法を改めて此の山に數回數度の拜禮をなし年を累ねて御神意に隨ひ立岩神社より一界上を踏み開きて新に石山神社を鎮祭し奉れり(祭神、國狹植大神)又數回數度の拜禮をなし御神意に隨ひ石山神社より一界上を踏み開きて新に天明神社を鎮祭し奉れり(祭神、天祖神を元に星司神天常立大神、宇麻之阿斯訶備比古遲大神、を始め星司三百三十余神此の時地の神七百六神との聲あり)其れより數回數度の拜禮をなし年を累ねて國津神等底津神等みな神集ひに集ひ給ひて愈一界上の頂上を踏み開きて此の天祖山の頂上に(一名白石山又は日原山と云ふ)十方開きの社殿を新築して(天祖大神より賜ひし天學の神字にて御神體を藏め奉り)鎮祭し奉りし大神は 天祖大神(天之御中主大神)天日大神(高皇產靈大神)天月大神(神皇產靈大神)此の造化の大神及び國常立大神を始めとして天地八百萬大神なり則ち此の天地の大主宰なる 天祖大神が此の天祖山の嶺に鎮り給ひしを以ちて此の所は正に火元水元空元天地の神の地臺神政所の奥殿と定り

(天學教會本院の神殿は神政所の本殿とあり)此の拜殿は天下泰平豊作圓滿の拜禮所の奥殿と定り(天學教會本院の拜殿は拜禮所の本殿となり)尋て御神意に隨ひ東口五合目を踏み開きて大日神社を鎮祭し奉れり(祭神、天照皇大神、神日本磐余彥大神、大日大神、大木大神)亦御神意に隨ひ武藏國都築郡山内村石川の地を選びて天學教會本院を新築して斯道宣傳の總幹部と定り漸く神世大專業の基礎茲に備れり則ち安政年間より國津神等諸共に天下泰平豊作圓滿世界平和神世成就の拜禮を一筋に勤めつつ千難万苦を退けて今日に至り既に五十年を経たり

今や我が國の人は概ね世界無比なる日本の國性を忘れて自身の利慾の満足のみを計りて國家は如何になりゆくも我が身さへ満足なれば他を顧るもの甚少く強慾の心の眼くらやみて鼻も匂はず耳も聞えず貧きものは見えす匂はず無情になゆく同胞の苦きさけびの聲も聞えず無慈悲の谷へ落るもの益多しとなり此の谷底へ落れば世に畏るるものなしとなる無道の罪に陥りて角が生えれば

鬼となる

國に生え立つ萬物は	黄金白銀米麥
いづれの寶物品も	皆おしなべて國寶
とることばかりよ心を込めて	天地の間に生りいづる
道を精々なさざれば	其の道つきて骸骨となる
利慾に陥ちたる世の中の	親子の因果世に報い
報い出でたるも攻めよ	たらぬたらずの無理づかひ
出だせや出だせきりきりと	機械で絞る生きあぶら
四方八方ぎしぎしと	流車も電車も油ぜめ
とりてもとりても未だ足らぬ	もつと絞れと一勢の
情愛も知らじ生きあぶら	絞りあぐれば骸骨となる
何程多く汲み入るも	國家の器か底抜けて
圍りも大小穴だらけ	かかる器に水盛るも

四方へ流るるひき潮に 水は器に溜るあてなし
 ありとあらゆる國中の 池や堀やのその水も
 萬國世界の 大仕掛け 汲みとるばかりを道とせば
 水口自然おとろひて 天のたすけの雨なくば

みな灘あかりて骸骨となる

此の汲み込む水も此の國のものか汲みて此の國に流れてあらば決して水の減りたるにはあらざれども今の状態にては此の汲み取る水は海に流れ流れの末は海外の水に流れ雑りて海外の水の精力となりて我が國へ此の水の精力還るあてなし又海外の水が我が國の水に流れ雑るは必ずよろしからず其の限りもなく多く雑り込むをよきこととなさば結局我が國體の爲にならず之れ國病の大源なり又我が國の米は我が國人の性に一體するかゆるぎに此の米及び穀類を其の限りもなく海外へ賣り出すは必ずよろしからず海外の米は性劣り力薄し生絲製茶及び製作品を海外へ賣り出すはよしと雖も善良なる田畑へ其の限りも

なく桑茶を植ゑ付け桑原茶原となすは必ずよろしからず桑茶及び菓物等は中下等の地所へ植ゑ付けて利益を計るべきものなり其他國家の經濟上に大注意をなさずんば他日臍を噛むも及ぶべからず

道と徳ふたつなければ世は闇世

なき程人の悲みはなし

高天の御心と世上萬人の心と一致和合せされば何事も安心ならず天の道と人の道と天地の道か合ざれば天下國家の天災となりて年々國難絶えず心つけと天地の懲し雨多くながぶりするも一の怒り片照りするも一の怒り大水のあれありて人々多く損するも田畑多くの荒れあるも暴風海嘯地震の荒れも雹乱氣候の不順にて不作饑饉のかさなるも多病で人々果てゆくも之れ皆天地の怒りにて可愛き我が子に苦難あるなり

能く此の道理を噛み別けて 止る道は皆ことめ
 底なきものには底を入れ ものを入れても漏らぬいやう

蓋なきものには蓋をして
 國か太とく立つる道
 わろき水には雜らす
 喉の乾きし國體は
 神の恵みに湧きいつる
 腹の空りたる國體は
 豊に稔る八束穂の
 國に金銀足らざれば
 國の力か薄ければ
 天に稱へば皆かなふ
 萬天より戴きて
 つきざる神世の國寶

中の大事の見えぬいやう
 誠の道を慥めて
 不淨の水はみな瀨切り
 天より雨を戴きて
 善良水澤山飲せたり
 天より穀類戴きて
 食物澤山食せたり
 天より金力貫ひたし
 天より神力貫ひたし
 天は萬の大元の種
 天地とともにゆく道は

予は天下泰平の拜禮の徳に神懸りありて白紙白文字の光明を書き取りて戴け

る神位天真經と云へる神字神文あり之れを一心不乱に唱へあけ勤め奉らば如
 何なる國家の大難も正に救ひ助りて自然神世の大安國と至るご大神の御神語
 ありしを一筋に守り來れり則ち我が國危き時は此のこを天下に貫き上下一
 致の力を合せて世の難を救ひ助けなせやごありしは天學修業の始めなり自然
 世の中現今の狀態となりしを以ちて愈此の儘捨て置かれず由りて茲に天下國
 家の人々に告げ神位天真經を以ちて我が國難を救ひ助けて天下は一の安かに
 治めずんばならざる大決心なり即ち高天の御神威を戴く道は備れりご雖も予
 の力の足らざるごころは天下國家の萬人上下一致の力を合せて是れより諸神
 諸共に高天の御神威を此の國土に戴き奉りて國の大木大眞の惡火を消し止め
 國の大海の惡水を濾し清め危篤の國病の大根小根まで残らず皆切り絶やさず
 んばあるべからず

天下國家の大器
 大磐石に打ち固め
 大底抜けの底を入れ
 圍りの穴もみな塞ぎ

是より戴く天徳の
 漏らざるいやうに念を入れ
 天祖神のあらはれに
 天下國家を救ひあげ
 上下中も安らかに
 世界隈なく平らけく
 我が大君とたてまつる
 天皇陛下の大み心
 やすんじ奉らん一筋を
 寢ても醒めても一心に
 神と人とにこひねかふ

全く斯の道を成就なさんが爲め上下一致の力を切望す之れに賛成あらるる人は三神力の勤め一日に一度なり敷度なり其の人々の念力に相任せて切望す天下の萬人國家の萬人之れに賛成ありて三神力の勤め朝夕一卷づつなりとも勤めらるる人々は天下を救ふ一人なり國家を助くる一人なり據りて顯れ出づる神事を一致和合の勤め方彌上下盛に切望すなり

第一 天祖大神は天地の大主宰に座して世界人類萬物の大皇祖大神なり然るに未だ此の大神の御鎮座給ふ官社のなきは實に靈妙の至りにて今回 天祖大

神世のあらはれに新に大日本神國に御鎮座を給ふこととなりたり由りて
 天祖大神の大御心に隨ひ奉りて清淨善良なる土地を選びて世界最大最美の大社を新築し茲に無上至尊なる 天祖大神を鎮祭し奉りて(予 天祖大神宮規と稱する宮殿の構造祭神の次第等神規を戴きあり) 世界萬國の大皇祖大神と崇敬し奉るべきものなり尋て天日大神、天月大神を始めとして天地海三界萬神、歴代の皇靈神、國土の靈神に至るまで一社に纏ひて世界二社の天下總社となし大日本人は云ふも更なり世界萬國の人々へ咸參拜の道を開きて 天祖大神世の一となし此の大社の境内は頗る廣大にかして此の境内は神道大教官及び神道大學校を置き附屬官舎を備へ日本の神道教は勿論世界の宗教を合一して天祖一教とかし即ち 天祖神道の一體となして之れを天下國教と定め天下の神社は官幣社及び國幣社となして官幣社の神官は神道大學校卒業生國幣社の神官は神道中學校卒業生より任用し(茲に神官は學業の外に主要なる修業の一科あり即ち經力拜禮の行法を修めて精神を純一となし神心と一體なすまでの

得業をくれば假令大博士と雖も神官たるの資格なし) 頗る人物を精選して國民の精神教育主任者ととなすんばあるべからず

第二 日月星の三光の恩徳を能く心の底に感じて曆法の改正をなすべきなり日月星の三徳をみな曆法に顯さざれば三光一致ならず(予天曆と稱する三光合體の神曆を戴きあり) 現今の曆法に於て天にあり給ふ月を用ゐざることは大なる誤りにて三光一致ならずんば必ず天下國家の爲にからず日を照し給ふか日の神の役かり月を周り給ふか月の神の役かり自然を味ひ給ふか星の神の役なり二十四節及び七十二候の顯れは天地和合の神道にして之れ皆 天祖大神の御詔給ふところの徳天道となり給ひて暑さ寒さのさしひきの自然の度まで星の神の司り給ふところなり此の三光か一致せざれば天道本體の道に缺くことありこれまでは神位天真經を以ちて日々月の神へ御詔の勤めをなすつありしか之れより高天の御神意に隨ひ奉りて神位天真經を天下に開き上下一致の大神力を以ちて天下國家の大安心を勤めあげずんばならざるにより此

の曆法の改正を望むなり月日は天にあり給ふ月の光りを用ゐる新月を一日として満月を中に治むることなせば月日合體となりて天地と人ご一體とあるかゆるに天道本體の守りに相稱ふあり普く月を世に出だし奉り日の神月の神星の神との三光の守りを厚く戴き奉りて盛に天下泰平豐作圓滿の國寶を戴かずんばあるべからず

第三 大日本神國は 天祖大神の大御詔給ふ至りにて世界萬國に類ひなき國體なり即ち萬世一系の神國なるがゆるに世界の文華に我か國に集り渾和合一をなさんとするは實に謂なきにあらざるなり斯くの如く至尊の國にして世々の文華の中心となるべき通用文字未だ我が自國より生れ出でざるは實に奇と云ふべし現在に用ゐつつある海外の文字は字類頗る多数字畫頗る複雑にして國の力を減せしむるは最も甚し此の害を能く精査なさは必ずや大に驚くべきものあらん一日も早く此の國家の元氣を消耗しつつある文字を廢し我か國人の作れる文字を用ゐて日本の國字を定めざるべからず(予天學通用文字と稱

する神字を戴きあり一十餘年の昔此の文字を用ゐしより遂に今日の如き悪結果を見るに至れりもし今後亦海外の新文字を用ゐるあらば將來國家に一層大なる禍害を生ずべきは決して舊文字の比にあらざるなり由りて上下一致の力を合せ自國製の文字を用ゐる速に大日本の國字を一定して國の力を太しく國家の元氣を盛大になさずんばあるべからず

高天の御心は神位天真經徳を天下に開き救へ助けよの聲ばかりなるかゆゑに天に縋りて天下國家を救ひあけずんばならざる秋なり依りて上下一致を肝要として予は一心高天に對ひ勤め奉るなり天下國家の人々上下一致の心を以ちて

三神力を

天真國眞體眞原總神心一妙

と唱へあぐれば自然天道本體に稱ひて高天の守りを強く戴き奉りて年々に不
作なく以前の普通倍作の稔りを授りて國人ともに自然病の根切りとなりて國

欠

MISSING

家は自然福裕となるなり故に人々の心が大に安く大々悠々として忠心深く孝心深く親切深く慈悲深く情愛深く正直となりて智慧明かに力量強く疾病無く壽命長く人神の如しとなるなり世の中茲に至らば天地神人一心一體となるかゆるに神世の一に治りて親子の守り改り實に我が子の可愛さに人の苦難を天より救ひ給ふところ萬の國難全く竟きて年々豊作萬作の寶の山を積みあげて我が子のかりある國債は天より償還し給ふなり上下一致の神力は 天祖大神の大御心に稱ひ奉りて此の徳天下國徳に満ち至るなり又此の徳文武の精力に授るなり

文官武官もろごもに	國の榮ゆる根元の
三 神力の神力を	常に心よかけぬれば
文にありては上下と	和合の力いや強く
内にありては國民の	榮ゆる力はりいでて
外にありては皇國の	榮ゆる力はりいでて

世界隈なくをののきて
 武術にありては軍隊の
 大日本島根の益良夫か
 世界平和の公敵を
 心をやすめ世のかぎり
 仰かぬ國こそなかりけれ

靡かぬ國こそなかりけれ
 勢力さかんにみちみちて
 神の如くにあらはれて
 討ちて破りて諸人の
 皇國の光りかかやきて

我が國は自然世界無敵の國となりて萬國廣しと雖も我が大日本神國に敵なす
 國は自然皆亡ふるものなり之れ辱くも 天祖大神の大御詔給ふ御威徳の至り
 なり敵陣微塵に破るるも敵艦微塵に碎くるも天地和合の神徳なり此の徳神風
 となる

三界の神の荒風荒浪に

あたる敵艦龍海の底

愈神世の成就是天地海三界和合の運動となるかゆるるに氣候空安の徳によりて

萬豊作に立ち榮え地震海嘯の災禍もなく風は神風となるかゆるるに風の災禍を
 くなりて風は五風となるなり雨は神雨となるかゆるるに雨の災禍なくなりて雨
 は十雨となるなり此の雨世界平和の雨となり此の風世界平和の風となり給ふ
 なり世の中茲に至らば世界は一道となるかゆるるに多大の政費も入らず多大の
 軍費も入らず多大の貯蓄も入らず上下無限の大安樂大福裕の大神世と至るな
 り之れ皆畏くも 天祖大神の大御詔給ふところの大日本神國の証據にしてあ
 はれ至る神世の神事なり

大神の神世の恵みに世のかぎり

豊にみつる國のみ寶

皇國のちから

をさめ

天學教會本院長大教正服部國光先生著

神位天真經

和全 裝卷五 箱入

本書は入門者に限り授與す志願者は願書（書式は照會を要す）料金八圓を添へて出願せられよ

神を世
救ふ

神世の一

和全 裝冊參 定價 送料 共 金貳圓

眞は國家の隆盛を念ひ眞に家庭の圓滿を念ふものは速に本書に就きて人生本來の旨味を知られよ

神奈川縣都筑郡山内村石川

天學教會本院

天學教會本院長大教正服部國光先生著

天學教旨大要

和全壹册 定價送料 共金五拾錢

神位天真經首部講義

和全壹册 定價送料 共金六拾錢

三神力講義

和全壹册 定價送料 共金五拾錢

御神目講義

和全壹册 定價送料 共金五拾錢

天學通用文字

和全壹册 定價送料 共金四拾錢

神奈川縣都筑郡山内村石川

天學教會本院

027
028

明治四十一年十月十二日印刷
明治四十一年十月十八日發行



發

行所 神世救社
神奈川縣都筑郡山内村石川三千七十八番地

編

輯者 全縣 全郡 全村 全所千百十三番地
田澤里之助

印

刷者 東京府北多摩郡小金井村小金井三千五百三十三番地
渡邊常吉

印

刷所 全府全郡府中町五千七百九十三番地
天學教會本院活版部

327
528

